

被爆ピアノとヴァイオリンの語らい

今「いのち」と「平和」をみつめて



2012年11月24日(土)
14:00~16:00 開場 13:30
会場: 清泉女子大学講堂

私たちは、昨年3月11日、東日本大震災に見舞われ、原発事故による放射能汚染により生活の基盤である環境と人のいのちそのものを脅かされています。清泉女子大学の建学の精神は、キリスト教ヒューマニズムにあり、「まことの知・まことの愛」(VERITAS et CARITAS) をモットーに、人間の尊厳をいつくしみ、いのちを尊び、自然環境との調和に生きることを大切にしています。人間と全ての生き物のいのちが脅かされることのない世界を願い、祈りを込めて、被爆ピアノとヴァイオリンによるチャリティ・コンサートを開催いたします。

1945年8月6日に広島で被爆したにも拘らず関係者の尽力で見事に復元され、誕生して約100年にもなる日本最古級の6本脚のグランドピアノ、そして、同年8月9日に被爆した浦上天主堂の被爆マリア像カラーージュをバックに、それらが無言で発するメッセージに耳目を集中し、悠久の人類の行く末に思いをはせる機会としての「被爆ピアノとマリア」とヴァイオリンの共演です。

演奏者: 鈴木健史 (ヴァイオリン) 鈴木弘子 (ピアノ) コロンえりか (ソプラノ)

◆プログラム◆ バッハ=グノー/アヴェ・マリア ショパン/別れの曲
ベートーヴェン/ヴァイオリン・ソナタ「クロイツェル」
「被爆マリアに捧ぐアヴェマリア」「浜辺の歌」復興支援ソング「花は咲く」など

入場料: 2,000円 (学生、障害のある方: 1,000円)

チケットお申込み
お問い合わせ

清泉女子大学カトリックセンター

03-5421-3375 (月曜~金曜 10時~18時) catho@seisen-u.ac.jp